

政策評価の概要

- 政策評価とは、総合計画に掲げた基本目標の実現に向けて、各施策の実施状況の把握や分析を通して課題を把握し、必要な改善を次の施策展開に反映させていく取組のことです。
- 総合計画の推進に当たっては、県民の皆様と共有・協力して実現を目指すべき具体的な数値目標として76の社会目標を掲げています。
- 評価結果については、客観性や統一性などの確保に努め、外部有識者の意見を踏まえ、とりまとめていきます。

総合計画の体系図

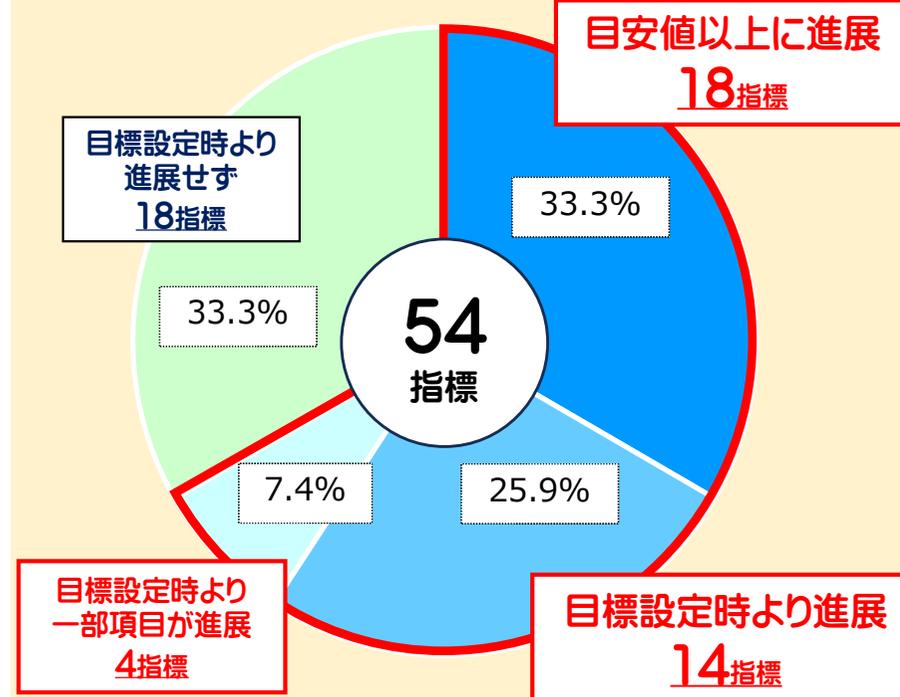
資料 1



ポイント

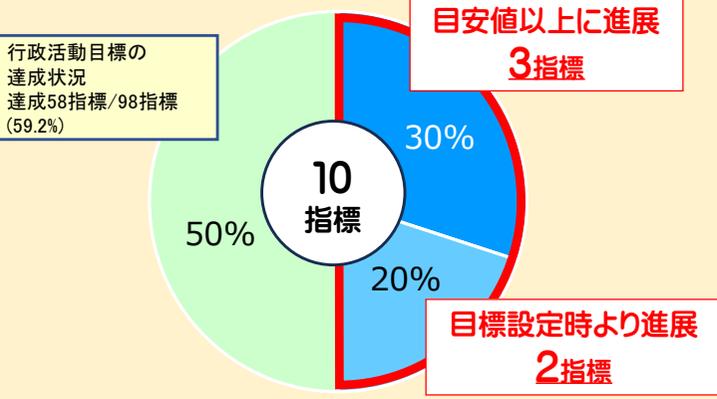
- 令和5年度事業では、現時点で実績値が判明している54の社会目標のうち36指標（66.7%）が、目標設定時より進展し、このうち18指標は、県で設定した目安となる水準以上に進展しました。
- 6つの基本目標のうち、進展度が高い分野は「Ⅱ 千葉経済圏の確立と社会資本の整備」「Ⅴ 誰もがその人らしく生きる・分かり合える社会の実現」で、低い分野は「Ⅲ 未来を支える医療・福祉の充実」でした。
- 各施策の成果や進捗状況を把握・分析し、必要な改善を次の施策展開に反映していきます。

社会目標の進捗状況



社会目標の進捗状況

I 危機管理体制の構築と安全の確保

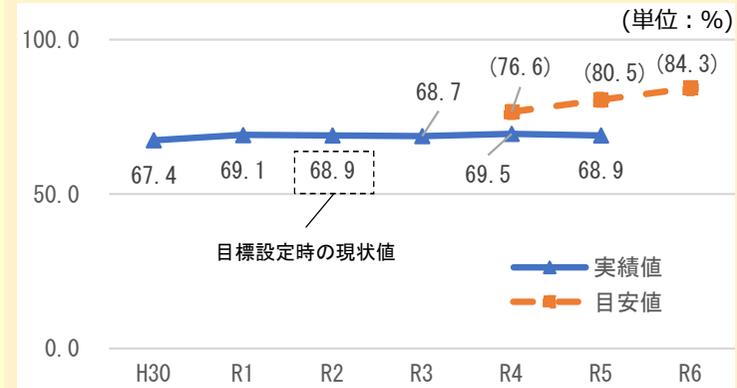


主な施策の進捗状況

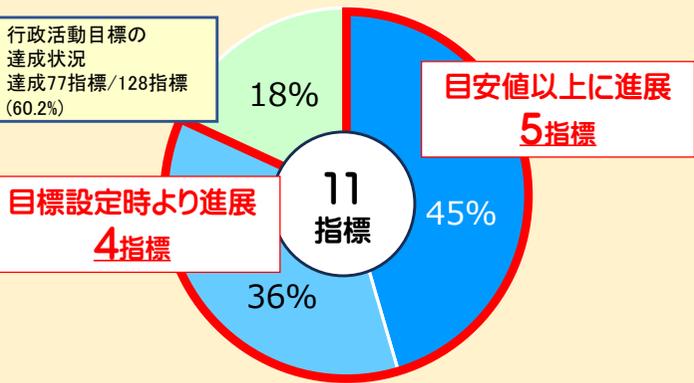
- ◆「健康危機対策研修修了者数」や「自主防犯団体の数」等において目安値以上に進展しました。
- ◆一方で「自主防災組織の活動カバー率」等において目標設定時よりも進展しませんでした。これは、住民の高齢化や地域の防災リーダーの不在、自主防災組織への理解の不足の他、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による地域のコミュニケーションの希薄化などにより、自主防災組織の結成や活動が促進されなかったことが要因と考えられます。

社会目標の具体例

施策 I -1-② 自主防災組織の活動カバー率

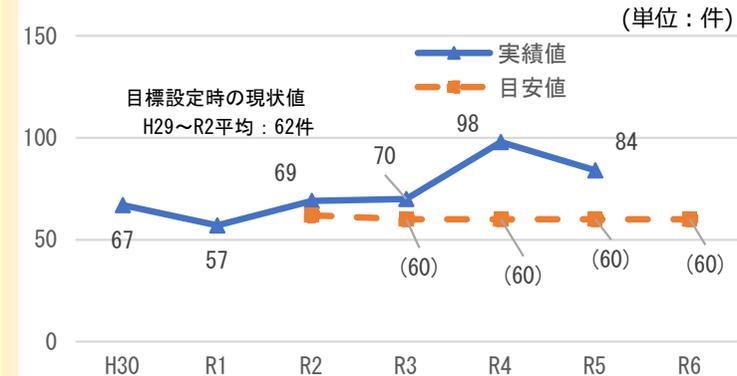


II 千葉経済圏の確立と社会資本の整備

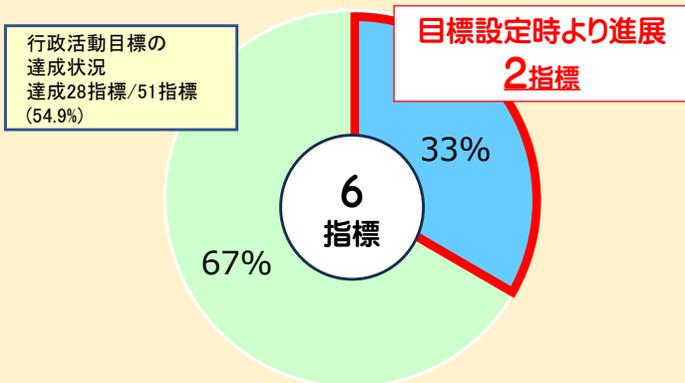


- ◆「県内への企業立地件数」や「成田空港の航空旅客数」等において目安値以上に進展しました。
- ◆「県内への企業立地件数」については、現在の集計方法で調査を開始して以降過去最高であった昨年調査と比較して減少していますが、千葉県へ立地意向のある企業との面談や企業誘致セミナーでのPRを積極的・継続的に実施したことに加え、市町村との情報共有をはじめとする連携を密にしたことにより、引き続き高い水準となっているものと考えられます。

施策 II -1-① 県内への企業立地件数



III 未来を支える医療・福祉の充実



- ◆「臨床研修修了者の県内定着率」等において目標設定時より進展しました。
- ◆一方で「地域の医療体制に安心を感じている県民の割合」等において目標設定時よりも進展しませんでした。これは、新型コロナウイルス感染症が5類になり通常の診療体制に移行したものの、急性期医療を経過した患者の受入や在宅復帰支援等を行う病床数が目標に達していないことが県民の不安につながったことなどが要因のひとつと考えられます。

施策 III -1-① 地域の医療体制に安心を感じている県民の割合

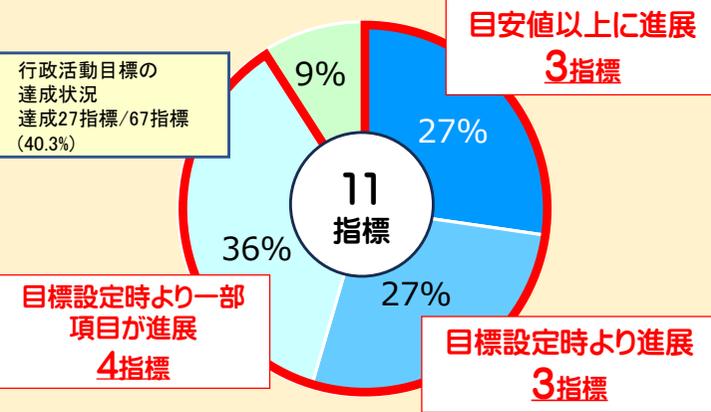


社会目標の進捗状況

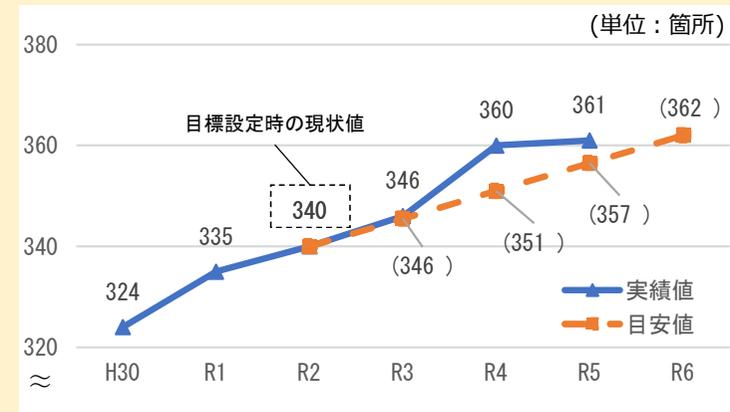
主な施策の進捗状況

社会目標の具体例

Ⅳ 子どもの可能性を広げる千葉の確立

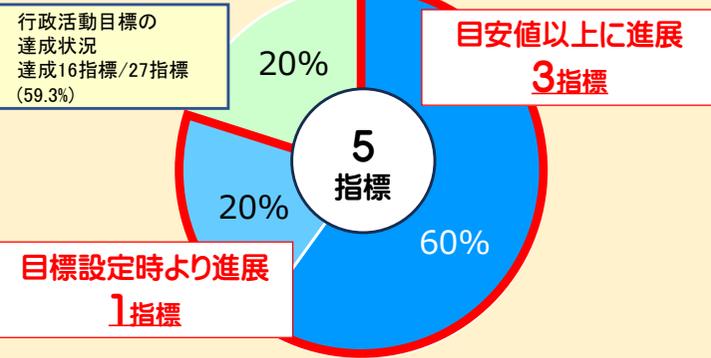


施策VI-1-② 地域子育て支援拠点の数

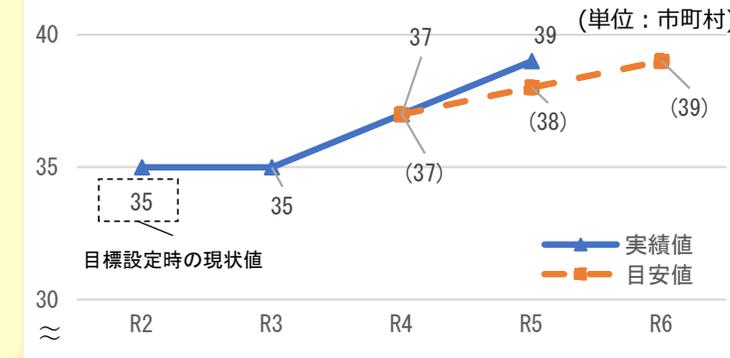


- ◆「産後ケア事業を実施している市町村数」や「地域子育て支援拠点の数」等において目安値以上に進展しました。
- ◆「地域子育て支援拠点の数」については、市町村が地域の実情に応じて実施する地域子育て支援拠点事業への助成を通じ、拠点の運営等に要する経費の負担を軽減することで、拠点数の増加につながったものと考えられます。

Ⅴ 誰もがその人らしく生きる・分かり合える社会の実現

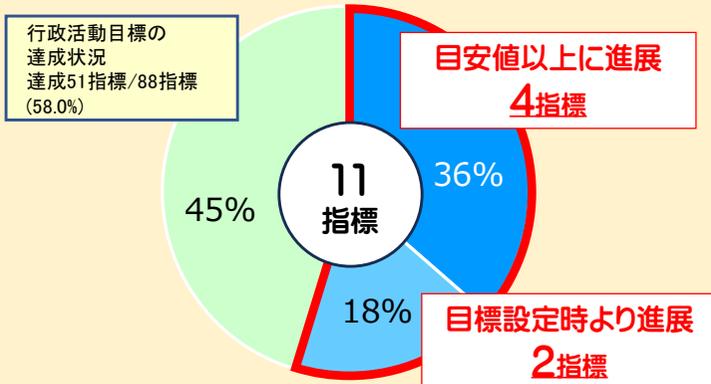


施策V-1-③ 地域日本語教室が開設されている市町村数

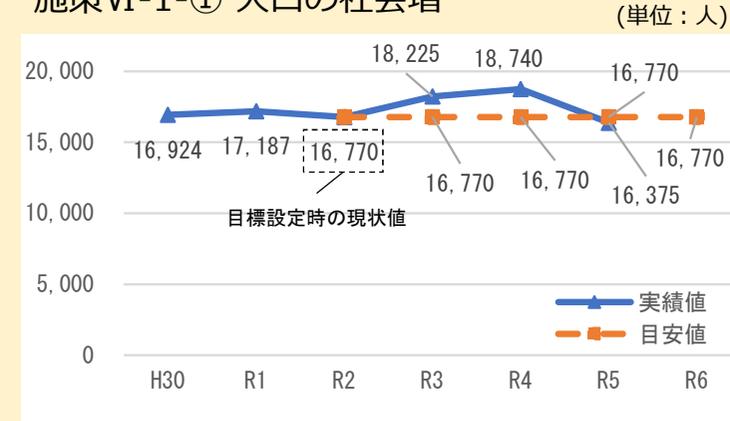


- ◆「地域日本語教室が開設されている市町村数」や「県の姉妹州・友好都市交流への参加者数」等において目安値以上に進展しました。
- ◆「地域日本語教室が開設されている市町村数」については、在住外国人数の増加により日本語教育のニーズが高まる中、教室の立ち上げや運営に係る支援を行う地域日本語教育コーディネーターを配置するとともに、地域日本語教室が存在しない市町村への訪問による状況把握や助言・支援を実施したほか、研修を通じた日本語学習支援ボランティア数の増加等により、目安値以上に進展したと考えられます。

Ⅵ 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造



施策VI-1-① 人口の社会増



- ◆「メティアに取り上げられた件数」や「この1年間に文化芸術に触れた県民の割合」等において目安値以上に進展しました。
- ◆一方で「人口の社会増」等において目標設定時よりも進展しませんでした。令和4年度に比べて転入が減っており、特に、東京都特別区からの転入が大きく減少しています。これは、令和5年に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、人々の都心回帰が進んだことなどが要因と考えられます。